

がん等の病気で妊よう性温存のための治療を受けられる皆さんへ

裾野市では、がんで治療を受けられる方が、安心して将来の妊娠・出産にそなえられるよう、卵子の凍結保存などの助成に取り組んできました。

令和3年度から新制度（県知事あて申請）が導入されましたので、現行制度（市長あて申請）と、どちらの申請に当てはまるか、①～③により確認をお願いします。

○新制度による改善点

- 年齢（40歳→**43歳** ③の凍結保存時）
- 回数（1回→**2回**）
- がん以外に**拡充**（造血幹細胞移植又はアルキル化剤投与の非がん疾患）
- 助成額の**増額**（精子凍結：2万円→**2.5万円**）

① あなたが妊よう性温存のための治療を受けている医療機関は、どこですか。

三島市	三島レディースクリニック
沼津市	沼津市立病院、岩端医院、かぬき岩端医院
富士市	富士市立中央病院、長谷川産婦人科医院
静岡市	静岡赤十字病院、静岡レディースクリニック
焼津市	焼津市立総合病院
浜松市	聖隷三方原病院、西村ウイメンズクリニック、アクトタワークリニック

→ 市長あて申請
（現行制度）

沼津市	いながきレディースクリニック
静岡市	俵IVFクリニック
浜松市	浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院



② 研究のため、妊よう性温存に係る臨床情報の提供に同意しますか。

- 提供の臨床情報は、日本がん・生殖医療学会のデータベースに登録され、有効性・安全性など妊よう性温存を促進するための研究に活用されます。
- 個人情報の取扱いについては、国の要綱により、その保護に十分配慮することとされています。

同意 → 市長あて申請
しない → （現行制度）

↓ 同意する

③ 妊よう性温存治療は、何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> • 卵子凍結（20万円以下） • 胚凍結（35万円以下） • 卵巢組織凍結 • 精子凍結 • 精巣内精子採取凍結 <small>下線は今回追加</small> 	<ul style="list-style-type: none"> • 卵子凍結（20万円超） • 胚凍結（35万円超）
---	---

↓
県知事あて申請
（新制度）

↓ + ↓
県知事あて申請
（新制度） + 市長あて申請
（現行制度）